



2021年5月10日

「TSUBASA汎用ペーパーレスシステム」構築に向けた 中国銀行との共同開発着手について ～営業店業務のペーパーレス化・印鑑レス化を目指す取組み～

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、2021年4月19日（月）、営業店業務におけるペーパーレス化・印鑑レス化を実現するため、「TSUBASAアライアンス」※で連携する中国銀行（頭取 加藤 貞則）と「TSUBASA汎用ペーパーレスシステム」構築に向けた共同開発に着手しました。

「TSUBASA汎用ペーパーレスシステム」は、日本アイ・ビー・エム株式会社（代表取締役社長執行役員 山口 明夫）の「ペーパーレス基盤」をベースに、銀行窓口での各種手続きを受付から後続処理、記録・保存まで完全ペーパーレス・印鑑レスに対応した仕様とする予定です。

従来の紙の伝票からタブレット端末に切り替えることで、お客さまの情報や取引のデータがオンラインで連携されることから、ペーパーレス化が図れるだけでなく、同一店舗内でなくてもバックオフィスの事務処理を行うことが可能となり、店舗の軽量化にもつながります。将来的には、TSUBASAアライアンス参加各行の事務処理の共通インフラとなることを目指してまいります。

両行はこれまで基幹系システムや窓口業務システムを共同化しており、今回も共同開発によるコストメリットや開発時間の短縮を追求してまいります。現時点で導入時期は2022年6月以降となる見通しです。

当行は、中期経営計画においてデジタル戦略の推進に重点的に取り組んでいます。今後もお客さま向けサービス、業務効率化、働き方改革などあらゆる分野でデジタル技術を活用した施策を積極的に展開してまいります。

※千葉銀行、中国銀行、第四北越銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み。

以 上

<本システム導入のイメージ>

- ①各種申請手続きをタブレットで行うことで、お客さまの記入負担を軽減するとともに申請内容を電子化し100%ペーパーレスとなります。



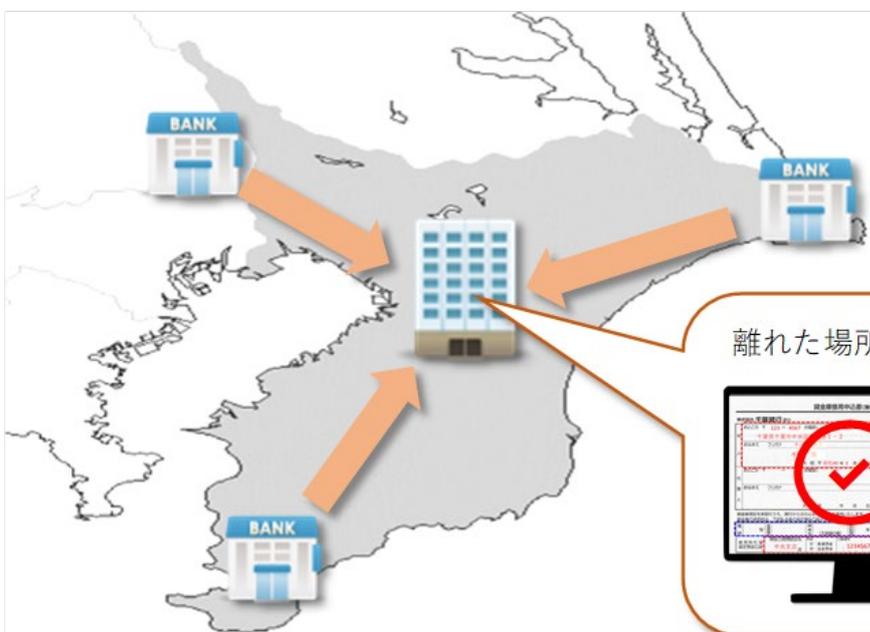
キャッシュカード認証により住所・お名前等を表示（記入不要）



申込に必要な情報はタブレット上で選択



- ②データはオンラインで連携されるため、別の離れた場所で後続処理が可能となります。これにより、店頭混雑時などのお客さまの待ち時間削減につながります。



離れた場所の画面上で内容確認